県民ひろば

2021年1月1日

No. 55

発　行 / 県民クラブ
連絡先 / 大分県議会
大分市大手町☎(097)536-1111㈹
http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/

困難を乗り越え、希望ある明日を切り拓く

県民クラブ　木田　昇（大分市）

新たな年の幕開けです。本来なら〝輝かしい新年を迎え〟と申し上げたい思いですが、昨年来の「コロナ禍」にあり、何とも表現しづらいところです。

◇　◇　◇　◇　◇

さて今から約２２００年前、中国初代皇帝、秦の始皇帝の時代に「焚書坑儒」という出来事が起こりました。始皇帝が専制支配を強化するため、日常生活に関わる医学や農学等を除く全ての書物を焼き捨て、政権に批判的な儒学者を排除・弾圧してきたのです。

「モリカケ」や「桜を見る会」に関わる文書の取扱い、そして「日本学術会議の任命拒否」等、一連の出来事を見ると、「歴史は繰り返される」と思うばかりか、「歴史に学ぶこと」を忘れてはならないと新ためて肝に命じました。

◇　◇　◇　◇　◇

１月22日に「核兵器禁止条約」が発効します。我が国は世界唯一の戦争被爆国でありながら、この条約に署名・批准をしていません。地球から核兵器をなくそうとする世界の多くの人々がこの事に落胆しています。

私には、原爆を体験した親族がいました。一人は広島で、もう一人は長崎で入市被爆しました。二人は戦後長く生きることができましたが、白血病で亡くなる二人を私は目のあたりにしています。

一刻も早く核兵器廃絶が実現できるよう、日本政府が国際社会で果たすべき役割を実行するよう強く願います。

◇　◇　◇　◇　◇

「新型コロナ」に今後どう対処していくべきかを考えなければなりません。

昨年一年間で「新型コロナ」による死亡例は累計で三千人規模となる一方、自殺者数は急増して月単位で二千人を超えました。

安全なワクチンの開発・提供は急がれますし、一方では社会経済活動の再活性化に備えつつ、自殺対策の強化も重要です。

◇　◇　◇　◇　◇

本県は、昨年も甚大な自然災害に見舞われました。

県民クラブは、災害調査団を編成し、日田市、由布市、玖珠町、九重町の現地を調査し、地元首長や被災地域の皆さんと意見を交わし、戴いた要望を国政や県政へ繋いでまいりました。

また会派で、気象予測・流域治水、避難所運営等について専門家のセミナーを受けました。早期復旧・復興を進めるとともに、新たな総合治水への政策提言にもつなげていきます。

困難な時流にありますが、県民クラブは、希望ある光り輝く明日を切り拓く２０２１年にしたいと思います。